



行事のお知らせ

萌えの子おはなし会

◆1月18日(土)午後2時から

おはなしする本:「おべんとうぞ」(絵本) ほか

◆場所 市立図書館1階 黒川子ども文庫

◆入場料 無料

子ども映画会/映画鑑賞会

◆1月11日(土)午前11時から

【上映(予定)作品】

グリーンヴァレー物語「ボウさんの雪だるま」、
「いっすん法師/つるの恩返し」、
「和尚と小僧のかみがたい」(3作品:上映時間41分)

◆1月19日(日)午後2時から

【上映(予定)作品】

「種まく旅人」～華蓮(ハス)のかがやき～

(2020年/日本、上映時間1時間48分)

監督:井上昌典 出演:栗山千明、平岡祐太

【内容】大学卒業後、大阪・堺市で銀行マンとして働く良一(平岡祐太)は、父親が倒れたことにより、れんこん農家を引き継ぐか、畑を売却するか決断できずにいた。戸惑いながらも畑へ向う良一に婚約者の凜(大久保麻梨子)は不安と苛立ちを募らせていた。その頃、農林水産省で農業の活性化に向けて頑張る神野恵子(栗山千明)が金沢へとやってくるのだった。石川県金沢「加賀れんこん」が紡ぎ出す絆の物語。

※ いずれも、場所と入場料は次のとおりです。

◆場所 市立図書館2階 視聴覚室

◆入場料 無料

郷土史講座「『神道集』の説話
—伊香保大明神の事—」開催

◆2月 2日(日)午後2時から

◆講師 青木祐子さん

◆場所 金島ふれあいセンターホール

◆入場料 無料

◆受付開始 1月10日(金)

※希望の方は市立図書館の窓口か電話でお申し込みください。

図書館が明るくなりました

照明をLEDに交換し、館内が明るくなりました。読書や学習がより快適となりましたので、ぜひご来館ください。

【図書館福袋の貸出し】 今年も4日(土)午前9時から、図書館福袋を貸出します。中には「おめでたい本」が1冊入っていて、1人1冊借りることができます。なくなり次第、終了です。お早めどうぞ！

1月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

■は休館日です

※13日(月・祝日)は開館します

※14日(火)は祝日開館明け休館日です

※30日(木)は月末整理日のため休館します

■は行事開催日です

毎週水曜日は乳幼児向けの読み聞かせを実施しています。

◆開館時間のお知らせ

平日:午前9時～午後8時

※開館時刻を変更する場合があります

土曜、日曜、祝日:午前9時～午後5時

新着CDのご案内

新着CDの一部をご紹介します。

なお、貸出しは1人3枚までです。

・WONDER BOY'S AKUMU CLUB/野田洋次郎

・プレシャス・ディズ/竹内まりや

・Ballad Classics Ⅲ/小泉今日子

・スーパー戦隊VS仮面ライダー 2015～2024

・十＝÷×(マスマティクス)ツアー・コレクション/エド・シーラン

いつもお花をありがとう！！

昨年12月、浜川南小学校校緑の少年団と浜川北中学校福祉委員会からお花のプランターをいただきました。いつもきれいなお花をありがとうございました。寒さに負けず、きれいに咲いてくれるよう、また、皆さんに楽しんでいただけるようにお世話します。



おすすめの児童書

おすすめ

◆「おもちのたいそう」
いもとようこ/作・絵
(金の星社)「おもちのたいそうはじめ！」
まずは準備体操。体をあつためて、柔らかくします。ゴロンゴロン体操の次は、せのびの運動。体操が終わったら、おいしい焼きもちの完成です！
おもちが焼ける様子を描いた、可愛らしい絵本です。

図書館職員からみなさんへ オススメの図書、DVD

毎年恒例の図書館職員が選ぶ是非みなさんに読んでいただきたい、見ていただきたい、オススメの図書、DVDをご紹介します。オススメは、ミニ展示コーナーに展示してあります。

【表示案内】 ☆:児童書

●:一般書(文庫含む)

◆:DVD



- ☆「だいいなあなた」 たなか しん(パイインターナショナル)
"ねえあかちゃん"でぐりかえされる文章。人も動物もみんな愛されるために生まれてきたことを伝えてくれる絵本です。大人が読んでほっこりします。
- ☆「オニじゃないよおにぎりだ」シゲタ サヤカ(えほんの杜)
おにぎり好きのオニたちが、人間に美味しいおにぎりを食べてもらおうと奮闘します。ですが、オニが怖い人間に逃げられてしまい、なかなかうまくいきません。そこで、人間を怖がらせないよう工夫した姿で…。とぼけたオニたちがとてもかわいくて、大人も子供も大笑いしてしまいます。おにぎりの種類が多くておいしそうなので、つい食べたくくなります。
- ☆「世界一長い鉄道トンネル」スイス・アルプス山脈をほりすむ 笹沢 教一(Gakken)

青函トンネルを抜いて世界一になったゴッタルド・ベース・トンネル。スイス・アルプス山脈を掘り進めようなんて、どんな困難が待ち受けていたのだろうか。完成までの道のりを群馬県出身の著者がわかりやすく紹介しています。

- ☆「へそまがりの魔女」 安東 みきえ(アリス館)
暗い森に住む呪いの魔女とその森にやってきた娘のお話。魔女の呪いからは、誰も逃れられないけれど、その魔女はとってもへそまがりなのです。魔女の優しさに心があたたまる物語です。
- 「タネまく動物」 小池 伸介、北村 俊平(文一総合出版)
植物を動物が食べる・移動することで行われる「種子散布＝タネまき」。その最新研究が、かわいいうイラストも含めてわかりやすく紹介されています。読み進める程に植物と動物の相互作用や進化に興味を沸いてくる本です。
- 「ねがらみ」 芦花 公園(幻冬舎)
一見関係のない快談がつながっていき怪異にまきこまれていくストーリー。民俗学や宗教もからみ怪異の正体におどろかされます。モキュメンタリーホラー好きには必読の1冊です。
- ☆ 空となかよくなる 天気の写真えほん「くものなまえ」 荒木 健太郎(金の星社)

雲の種類や名前・形がわかる写真絵本です。外に出て見上げてみると当たり前にある雲だけ10種類もあって見る角度や光の当たり方、条件で見え方が変わってくる。同じ名前の雲でも全く同じ形の雲はいなくて見上げた空にいる雲はその時にしか出会えないなんて驚きました。天気のいい日に空を見上げて雲をゆっくり眺めたくまりました。

ぜひ読んでみてほしい本

本年も、皆様の「読みたい」「聴きたい」「観たい」のご希望に添えますよう、資料を揃えてご来館をお待ちしております。浜川市立図書館職員一同

◆「トクベツキューカ、はじめました！」
清水晴木/作 いつか/絵
(岩崎書店)一年の中で一日だけ、好きな日に好きな理由で学校を休んでもいい特別休暇の日、通称「トクベツキューカ」。
主人公の小学生たちが、迷いながら成長していく姿を四季で描いた、連作短編です。あなたなら、どんな日にトクベツキューカを使いますか？

- ☆「動物の見ている世界」 ギョーム・デュプラ/渡辺淑人(訳)(創元社)
イラストの目の部分をめくることができて、その生き物がどのように景色が見えているかわかる仕掛け絵本です。人間を含め、どの生き物にも目はあるけれど、生き物によって私たち人間より綺麗に見える生き物がいると知って学びが深まります。こんなにも見え方や視野、色が違うなんて驚きました。
- 「コンビニ兄弟 テンダネス門司港かね村店」 町田 そのこ(新潮社)
コンビニ「テンダネス」のフェロモン店長とその兄。そこに集まる人々の日常の中のちょっとした事件を描いています。くすっとしたり、ほろっとしたり、あたたかい気持ちで読むことができます。
- 「実家じまい終わらせました！」 松本 明子(祥伝社)
住む人のいない実家。住んでいる家も空き家になる可能性が…。
- 「ラッコ BOOK」 木村 悦子(グラフィック社)
メイ・キラ・リロ。日本の水族館にもう3匹しか飼育されていないラッコ。とっても可愛い写真はもちろん、歴代のラッコ飼育員さんたちのインタビュー、読むとラッコのことが知れて好きになる本です。
- 「つかれたときに読む 海外旅日記」 五箇 野人(小学館)
甚平&忍ハチマキ姿で海外を旅した著者。心あたまる旅先での出会い、胃と心がシビれるシビれめしの数々。つかれている時、心がやさぐれている時にしみる本です。
- 「風が吹くとき」 レイモンド・ブリッグス(篠崎書林)
私には、読んだことを後悔した本が2冊あります。それはこの1冊。イギリスの片田舎で暮らす平凡な老夫婦はある日戦争が始まった事を知ります。やがてその戦争は2人の幸せを…。勇気のある方は読んでください。

- ◆「丘の上の本屋さん」 クラウド・ロッシ・マッシミ(ハビネット)
本を通じて関わる人たちの穏やかで優しいストーリー。店主と少年の絆には心が温かくなります。本が好きな人にもオススメです。